

## 社会の発展とともに

ジェイテクトグループは、企業理念をもとに事業を通じて社会的課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現を目指します。

### 企業行動規準

#### お客様、取引先様への責任

- 遵法精神に基づき、公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行います。
- マーケットから発想し、最高の品質・技術・サービスを提供し、お客様の満足と信頼に応えます。

#### 株主様への責任

- 株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を公正に開示するとともに、継続的に企業価値の向上を図ります。

#### 従業員への責任

- 社員の人格と個性を尊重し、可能性と働きがいを大切に安全な職場を作り、一人ひとりの豊かさを実現します。

#### 地域社会、グローバル社会への貢献

- 「良き企業市民」として社会貢献活動を積極的に推進します。
- 国際ルール、各国各地域の法律・文化・慣習を尊重し、その発展に貢献します。
- 地球環境問題への取り組みは、企業の重要な使命のひとつであることを深く認識し、自主的・積極的にいきます。

### グローバル・コンダクト・ガイドライン

#### グローバルに事業活動を行う責任

ジェイテクトでは、グローバルに事業活動を行う企業として、社会的な責任を果たすべくグローバル・コンダクト・ガイドラインを制定しています。国際情勢や社会環境の変化、社会からの企業への期待を適切に捉え、継続的に更新・見直しています。

※ 詳細は以下URLをご参照ください。  
<https://www.jtekt.co.jp/sustainability/csr/concept/>

#### グローバル・コンダクト・ガイドラインの骨子

1. 法令、規則との関係
2. お客様、取引先様との関係
3. 会社との関係
4. 共に働く仲間たちとの関係
5. 社会一般との関係

### CSR推進

#### 全社各部門におけるCSR活動の実践

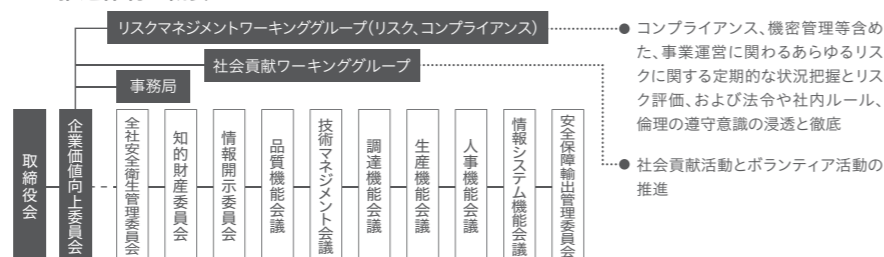
ジェイテクトでは、「企業は社会の公器」との考えからCSR活動を企業活動そのものと捉え、全社それぞれの部門において年度実施計画を作成しています。その上で方針管理に基づく月次のマネジメントにより、PDCAサイクル<sup>※1</sup>を回しています。このような目標達成に向けた仕組みにより、会社方針、事業・機能の方針を具体的な取り組みに落とし込み、着実にCSR活動を推進しています。

※1 計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)を繰り返すことで継続的に業務改善していく管理手法。

#### 企業価値向上委員会

ジェイテクトでは、2009年2月に社長が委員長を務める「CSR推進委員会」を設置し、定期的にCSR活動の推進状況を点検してまいりました。2017年3月には名称を「企業価値向上委員会」に変更し、従来のCSR活動状況報告に加え、様々なステークホルダーとの対話や、外部機関の評価結果等を共有し、サステナブルな社会の実現に向けたジェイテクトグループの貢献や、新たな価値創造について、継続的に議論しております。

#### CSR推進体制の概要



### 主なESG<sup>※2</sup>データ

単位	2017年度	2018年度	2019年度
----	--------	--------	--------

#### モノづくりを通じた貢献

製品[連結]	製品によるCO <sub>2</sub> 削減貢献量 <sup>※3</sup>	合計	千t	761.0	816.0	830.0
製品群事例	ステアリング <sup>※4</sup>	電動パワーステアリングシステム	千t	372.0	370.0	361.6
	軸受(ベアリング) <sup>※5</sup>	自動車向けテーパローラーベアリング	千t	111.4	115.0	108.4
研究開発[連結]	研究開発費 <sup>※6</sup> の総額		億円	552	636	647
研究開発[単独]	特許出願件数		件	543	614	611
	特許取得件数		件	368	334	320
品質[単独]	品質展示会来場者数(のべ)		人	—	9,237	10,374
環境[連結]	地球温暖化防止	生産におけるCO <sub>2</sub> 排出量	千t	784	808	751
環境[単独]	地球温暖化防止	生産におけるCO <sub>2</sub> 排出量	千t	227	217	205
		内製生産高当たり生産量におけるCO <sub>2</sub> 排出量	t/億円	140.3	131.1	126.3
		物流におけるCO <sub>2</sub> 排出量	千t	12.8	12.2	10.7
		売上高当たり物流におけるCO <sub>2</sub> 排出量	t/億円	1.99	1.82	1.65
	資源の有効利用	内製生産高当たり廃棄物量	t/億円	6.78	6.20	6.26
		売上高当たり梱包材使用量	t/億円	0.77	0.75	0.78
		内製生産高当たり水使用量	千m <sup>3</sup> /億円	1.43	1.35	1.29
	環境負荷物質の管理・低減	PRTR法対象物質排出・移動量	t	38	27.1	25.7
	環境異常件数		件	0	2	0

#### 盤石な経営基盤の確立

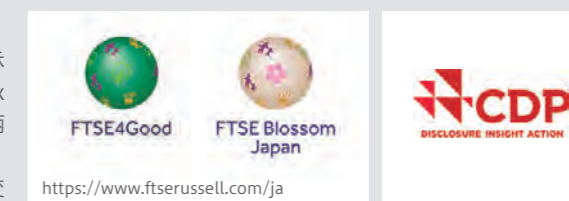
従業員[連結]	海外の重要ポストに占める外国人比率	%	65.3	65.7	74.1	
従業員[単独]	従業員の自部門ビジョン理解度	%	67.1	68.0	86.3	
	女性従業員の割合	%	10.3	10.8	10.3	
	女性管理職の割合	基幹職	%	0.92	1.07	1.20
		主任	%	4.11	4.69	5.15
	障がい者雇用率	%	2.17	2.17	2.24	
	育児休業取得者	人	49	60	68	
	介護休業取得者	人	1	5	6	
	元気で生き生きとしている職場比率 <sup>※7</sup>	%	55.3	21.4	18.2	
ガバナンス[単独]	内部通報件数	件	50	49	35	
地域貢献[単独]	青少年育成人数 <sup>※8</sup>	人	1,201	1,627	1,288	
	地域懇談会実施拠点数	カ所	13	13	13	
	地域清掃活動総動員数	人	4,665	4,861	3,178	

※2 「Environment : 環境」「Social : 社会」「Governance : ガバナンス」の3つの頭文字をとったもの。企業が持続的に成長できるか否かを判断する指標として用いられる  
 ※3 環境設計による製品の使用段階でのCO<sub>2</sub>削減量。グローバルで算出した量を単年で表記。2016年度より算出方法を一部変更している  
 ※4 ジェイテクトが設計した製品の台数で算出してあり、海外生産したものを含む ※5 単独 ※6 一般管理費および製造費用に含まれる研究開発費  
 ※7 社内従業員アンケート結果に基づく ※8 小学生・中学生・高校生の参加人数

#### 外部評価

環境・社会・ガバナンスの各分野における取り組みや情報開示が評価され、FTSE Russellが提供する「FTSE4Good Index Series」ならびに「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されました。

また、CDP<sup>※9</sup>が行う企業調査においても、2019年度は気候変動がA、ウォーターセキュリティはBに評価されました。今後も、CSR活動を通じて、社会の持続的発展に貢献するとともに、持続的な企業の価値向上に努めます。



<https://www.ftserussell.com/ja>

※9 CDP: 世界の機関投資家を代表して、企業に対し、気候変動、水、森林資源に関する情報開示を要求。企業からの回答をA~Dの8段階に評価して投資家に開示している非営利団体